



# 岩五だより



令和6年7月11日

## いじめを考える

大暑のみぎり、本校関係者の皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。

この7月で、今年も早いもので折り返しの月と相成りました。今回の学校だよりでは、6月に行われた「ふれあい月間」（いじめ防止強化月間）をうけて、7月1日の全校朝礼での、生徒に伝えた話を掲載いたします。

みなさん、おはようございます。（→元気な返事のあいさつが返ってきました）いつでも気持ちの良いあいさつが飛び交う学校であると気持ちが清々しくなります。先代の校長先生も、「あいさつは、魔法の言葉」とおっしゃっていましたが、君たちのあいさつから、私自身も元気ももらっています。

さて、先月6月はふれあい月間でした。アンケートが各クラスで行われたことと思います。私は、「いじめ」という言葉が大嫌いです。誰もがこの言葉を好きな人はいないと思います。この世の中から「いじめ」がなくなってほしいと本気で思っています。そのためには、他人に対して優しい言葉、優しい行動が必要です。相手の気持ちになって嫌な言葉や意地悪な言葉を使わないことがとても大切です。

「いじめは絶対にやってはいけないこと！」であり、岩五の先生たちにも、「早期発見、早期対応」を心がけることをお願いしています。そのためには日頃から、今日の表情はいつもと違う！髪型が変わった！ケガ等していないか？いつもよりしゃべらないし給食も食べていない！等々。気づけるアンテナの感度を高くかかげていたいと思います。人は、現在の自分の心が姿になって表れる場合が多くあります。そんな何気ないことに気づける教員でなければならないと私自身思っていますし、岩五の先生たちもそう思っています。

岩五に赴任してきて感じることは、みんなの元々ある素直な心をそのまま伸ばしていきたい！ということです。みんな一人ひとり、きれいな目をしています。そして、生まれたときは、みんなきれいな心をもって誕生します。その心を大切にしていってほしいということです。

「大きな心の人になってください！」

自分一人だけの世界で生きるのではなく、相手の心を感じとり、相手の気持ちになって考えられる、人を思いやることができる、そんな大きな心の人になってください。心がければ、必ず近づけると思っています。

もちろん、私たち大人も頑張らないといけないと思っています。君たちの心の声を、聴ける教員であり、大人でなければいけません。いじめをなくしたいです。気持ちの良い世の中にしたいです。みんなが楽しい岩五にしたいです。私たち大人も頑張ります！君たちと一緒にそんな世の中を、岩五をつくっていきましょう！

江戸川区立小岩第五中学校

校長 前本 大智